

サイドアンダーカメラキット 取付/取扱説明書

ハイエース(200系) H16.8~

このたびは、データシステム製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この取付/取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。その後大切に保管し、必要な時にお読みください。保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

取り付けに必要なもの

- トルクスレンチ(T-30)
- ビニールテープ

- 一般工具類

ご相談窓口

お電話 086-486-0442
(技術的なお問い合わせ・修理受付)

【受付時間】
月曜日～金曜日 10:00～12:00/13:00～17:00
(年末年始/祝日など、弊社休業日を除く)

メールでのお問い合わせ (PC) <https://www.datasystem.co.jp/support/mail/>

メールでのお問い合わせ (スマートフォン) <https://www.datasystem.co.jp/sp/support/>

Data System 株式会社 データシステム

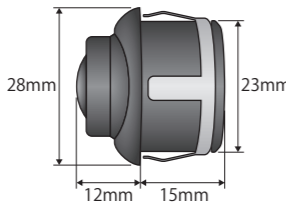
■ [本 社] 東京都新宿区新宿1-18-2 ■ [倉敷支社] 岡山県倉敷市神田1-1-11
弊社に無断で本説明書の内容・図・写真の全部、または一部の複製(コピー)・転用・転載を禁じます。 SCK-79HF-2004-AKN

内容物一覧

- カメラ(ケーブル長4m) × 1
 - カメラカバー × 1
 - 正像/鏡像切り替えコネクタ × 1
 - 電源ハーネス(3m) × 1
 - ピン端子ケーブル(6m) × 1
 - エレクトロタップ × 2
 - カメラカバー固定用両面テープ × 2
 - 結束バンド × 10
 - 脱脂クリーナー × 1
 - 取付/取扱説明書(本書) × 1
 - 保証書 ユーザー保証登録カード × 1
- ※電源ハーネスは必ず付属品をご使用ください

仕様

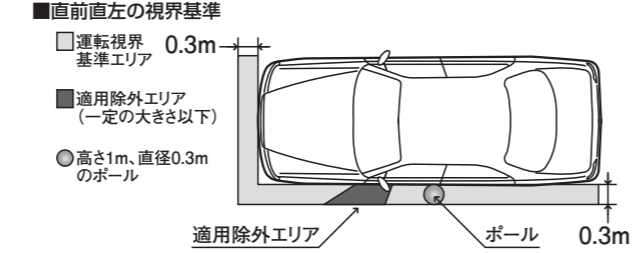
カメラ本体	
有効画素数	40万画素
水平解像度	480TV本
映像信号	NTSC
水平画角	180°
垂直画角	110°
電源	DC12V
消費電流	約37mA
動作可能温度	-20℃～+65℃
重 量	約17g(固定金具含む/ケーブル・カメラカバー除く)
出力タイプ	正像/鏡像映像(ガイドライン表示なし)



28mm, 23mm, 12mm, 15mm

警告 本製品を装着する際の重要事項

本製品を装着する際に直前直左鏡を取り外しますので、本製品と共に別途フロントカメラも装着して直前直左の視界を確保し保安基準に適合させる必要があります。直前直左の視界の詳細については下記「直前直左の視界基準」をご参照ください。



通常の運転状態における運転者の視点から、薄いグレーの範囲に設置した高さ1m、直径0.3mのポールが直接またはミラーやカメラ&モニターで確認できるようにしてください。

フロントカメラについて
当社は直前視界の確保用としてエンブレムフロントカメラキットFCK-67HS3・ビルトインカメラBIC263・マルチビューカメラMVC811をご用意していますので、車両の仕様などに合わせて本製品と共にいずれかを装着することを強く推奨します。それぞれの仕様等については当社WEBサイトでご確認ください。
エンブレムフロントカメラキットFCK-67HS3 <https://www.datasystem.co.jp/products/fck/index.html>
ビルトインカメラBIC263 <https://www.datasystem.co.jp/products/bic263/index.html>
マルチビューカメラMVC811 <https://www.datasystem.co.jp/products/mvc811/index.html>
また、ナビやモニター1台に本製品とフロントカメラの映像を同時に表示(2分割画面表示)させたい場合はマルチカメラスプリッターMCS296をご使用ください。
マルチカメラスプリッターMCS296 <https://www.datasystem.co.jp/products/mcs296/index.html>

自動車販売店(ディーラー)の対応及び車検について
自動車販売店によっては、直前直左鏡を取り外した車両に対して定期点検や入庫を拒否する場合があります。また、指定工場・認証工場・陸運支局によっては、車検を受ける際に直前直左鏡を取り外した車両に対して保安基準不適合と判断する場合があります。以上について、十分にご理解頂いた上で本製品を装着して頂けますようお願いいたします。本製品を装着したことによるトラブル等に対し、当社では一切責任を負いません。

注意事項の定義について

注意事項は「▲危険」、「△注意」、「●警告」、「①重要」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

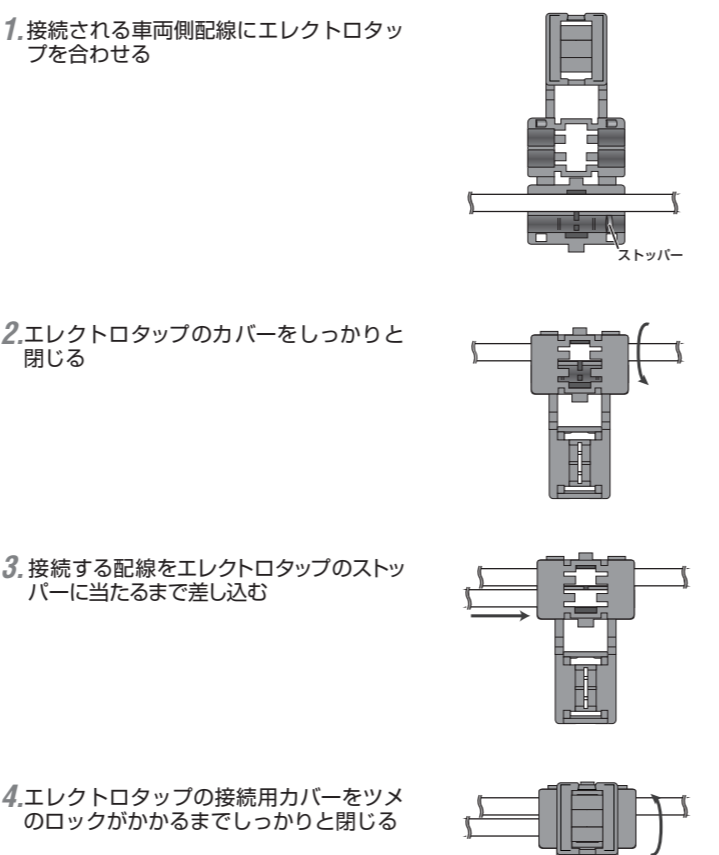
▲危険	守らないと、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が高いもの
△注意	守らないと、車両及び製品を破損または故障させる恐れがあるもの
●警告	守らないと、法律に違反する恐れがあるもの
①重要	本製品を使用する上で知っておいていただきたいこと

取り付け上の注意

- ▲ ● 取り付け作業前に、必ずバッテリーマイナス端子を外して車両側の電源を遮断してください。電源を遮断しない状況での取り付けは、ショートや感電など重大事故につながります。
- ▲ ● 本製品は12V車専用です。
- 製品の取り付けは、必ず専門の知識・設備のある取り扱い業者でおこなってください。
- 本製品の分解や改造は絶対におこなわないでください。
- 本製品のカバーはウレタン製です。塗装する際は専門業者に依頼してください。塗装には専門の知識が必要です。
- 電源ハーネスは必ず付属品を使用してください。付属品以外は使用できません。
- 電源ハーネスは切断して使用しないでください(延長は可)。電源ハーネスには電源回路およびヒューズが接続されていますので、切断してしまうと回路上の問題が発生して正常動作しなかったり製品や車両側の故障の原因となる場合があります。
- カメラケーブルを通す際に切断した場合は、必ずハンダを使用して1本ずつ配線同士を接続した上で、それぞれ収縮チューブで絶縁してください。ハンダ以外を使用すると、断線や接触不良の原因となる場合があります。
- バッテリーマイナス端子を外す前に、オーディオ機器などの設定内容をメモしておき、取り付け完了後に再入力してください。入力方法については機器の取扱説明書をご参照ください。
- 配線を強く引っ張らないでください。断線、接触不良を引き起こす恐れがあります。
- 電源ハーネスのアース線は、車両側電装品のアースポイントまたは車体の金属が露出している場所に接続してください。アース線が正しく接続されていないと、本製品が正常に動作しなかったり製品や車両側の故障の原因となる場合があります。
- 車両側および本製品の配線を傷つけないよう圧迫したりしないよう、配線の取り回しには十分ご注意ください。
- カメラカバー及びカメラ本体が車体から脱落しないようしっかりと装着してください。
- 取付説明書に記載されている方法以外の取り付けは絶対におこなわないでください。本来の取り付け方法以外で取り付けられた場合は保証対象外となります。
- 付属のピン端子ケーブルの長さが足りないときは別途延長用のピン端子ケーブルをご用意ください。

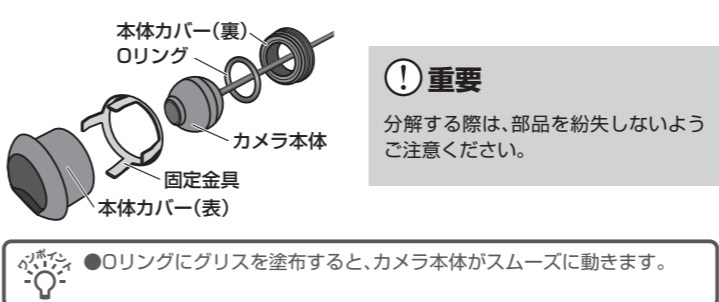
エレクトロタップの使い方

接続後、テスターを使用して確実に接続されているか確認してください。接続が不完全の場合、動作不良の原因となります。



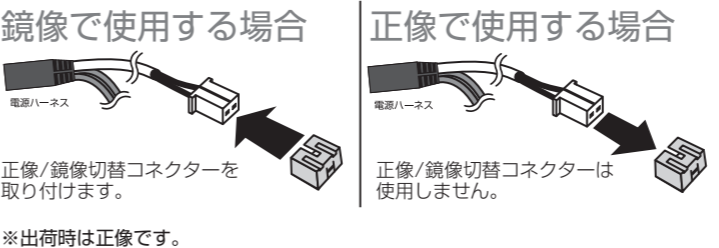
カメラの構造について

本製品のカメラ部は、下図のようにカメラ本体をOリングに押し付けて固定する構造になっています。本体カバーの締め具合でカメラ本体の動きを加減できます。



鏡像/正像切り替えについて

カメラに電源が入った状態で、正像/鏡像切替コネクタを取り付けたり取り外したりしないでください。



使用上の注意

- ▲ ● カメラ映像は、ドアミラーやバックミラーなどと同様にあくまで車の安全をサポートするためのものです。本製品使用中は必ずドライバー自身が直接周囲の安全確認をおこなってください。
- ▲ ● 自動洗濯機などによる高圧洗浄はおこなわないでください。カメラ内部に水が浸入して故障の原因となる場合があります。
- カメラ本体およびカメラカバーは、ベンジン・シンナー・ガソリン・アルコールなど揮発性がある薬品類で拭かないでください。変色・変質・変形などの原因となります。
- レンズを拭く際は、柔らかい布などに水を含ませ軽く拭いてください。強くこすったり乾いた布などで拭いたりすると、レンズに傷がつく原因となります。
- 運転者が運転中に画像表示装置(TV画面など)を注視することは道路交通法で禁じられています(道路交通法第71条)。
- カメラに電源が入った直後やカメラの使用中にカメラ映像の明るさや色合いが変化することがありますが、これは周囲の明るさをカメラが検知し映像補正するために発生する症状ですので故障ではありません。
- カメラ映像は、視野角やレンズ形状などから実際の距離とは距離感が異なります。
- レンズは汚れていたらきれいに拭いてください。レンズが汚れているとカメラ映像が見えにくくなります。
- 本製品を使用して発生した事故、違法行為、車両の故障または破損などの責任は一切負いません。

保証について

本製品は日本車専用設計された製品であり、弊社が認める適合車両以外への取り付け、および日本国外での販売や使用を禁止しています。万が一日本国外で使用されたとしても、弊社は一切の責任・保証を負いませんので予めご了承ください。

● 付属の保証書に必要な事項を全てご記入ください。特に販売店印及びご購入日の記入がない場合、保証書は無効となります。また、保証期間を有効にするために必ずユーザー登録をおこなってください。

※保証期間はご購入日を含めて「1年間」です(保証対象はカメラ本体のみ、カメラカバーは保証対象外です)。

※ユーザー登録をおこなわない場合、保証期間は無効となります。

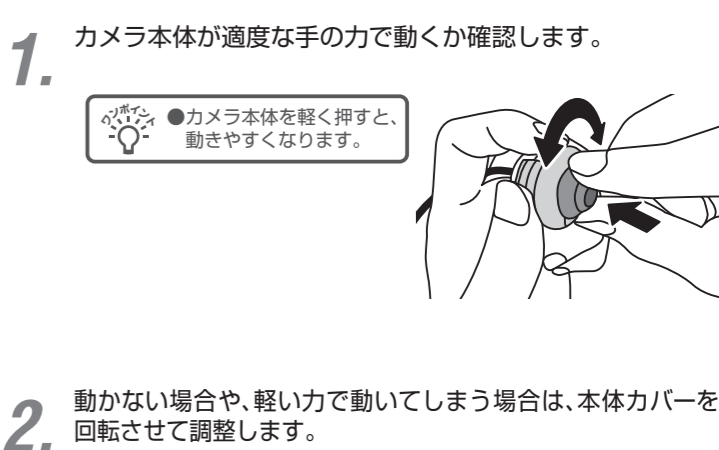
※保証規定は保証書をご参照ください。

※保証書はいかなる理由があっても再発行致しません。

保守部品の保有年数について

この製品は、補修部品の入手性、修理後の性能保証の観点から修理対応期間(保守部品の保有年数)を製造打ち切り後、6年間に設定しています。※修理対応期間は目安であり、実際の期間は若干異なる場合があります。修理対応期間(保守部品の保有年数)を終了している製品については、修理のご依頼をお受けできない場合があります。

カメラ本体の動きを調整する

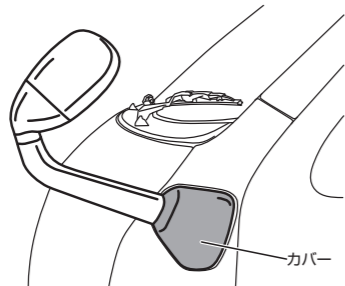


取り付け方法

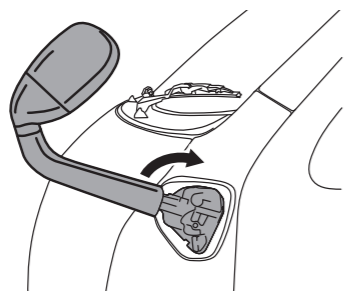
1. 直前直左鏡を取り外す

重要 ●直前直左鏡の取り外しにはトルクスレンチ(T-30)が必要です。

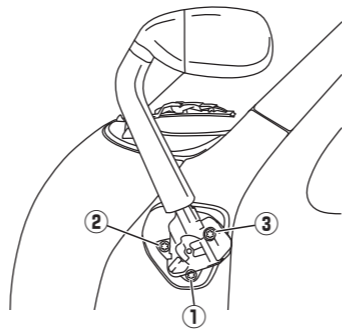
1-1 カバーを取り外す



1-2 トルクスボルトが見える位置まで直前直左鏡を時計方向に回転させる

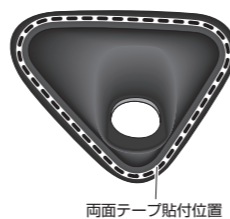


1-3 トルクスボルト3本を図の番号順に外して直前直左鏡を取り外す



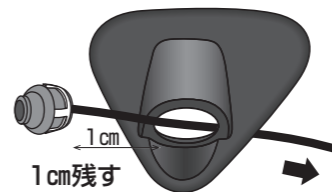
2. 付属の両面テープをカメラカバーに貼り付ける

重要
●必ず付属の脱脂クリーナーで脱脂してから両面テープを貼り付けてください。
●両面テープの保護シートは、まだはがさないでください。



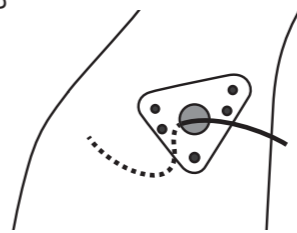
3. カメラのケーブルをカメラカバーの穴に通す

重要
●まだカメラカバーにカメラ本体をはめこまず、ケーブルを1cm程度残してください。
先にはめ込むとカメラの角度が調整しにくくなります。



4. カメラカバーを取り付ける

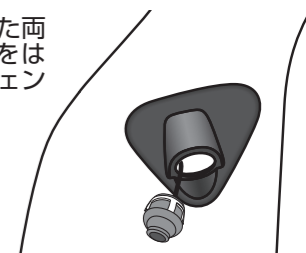
4-1 下図を参考に、カメラケーブルをボンネット内側に引き込む



4-2 カメラカバーを貼り付ける位置を確認し、脱脂クリーナーで油分や汚れを取り除く



4-3 カメラカバーに貼り付けた両面テープの保護シートをはがし、カメラカバーをフェンダーに貼り付ける

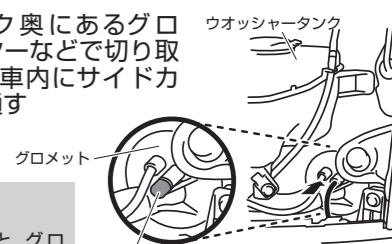


重要
●まだカメラカバーにカメラ本体をはめこまず、ケーブルを1cm程度残してください。
先にはめ込むとカメラの角度が調整しにくくなります。
●寒い時期はドライヤーで暖めると密着しやすくなります。

5. 接続する

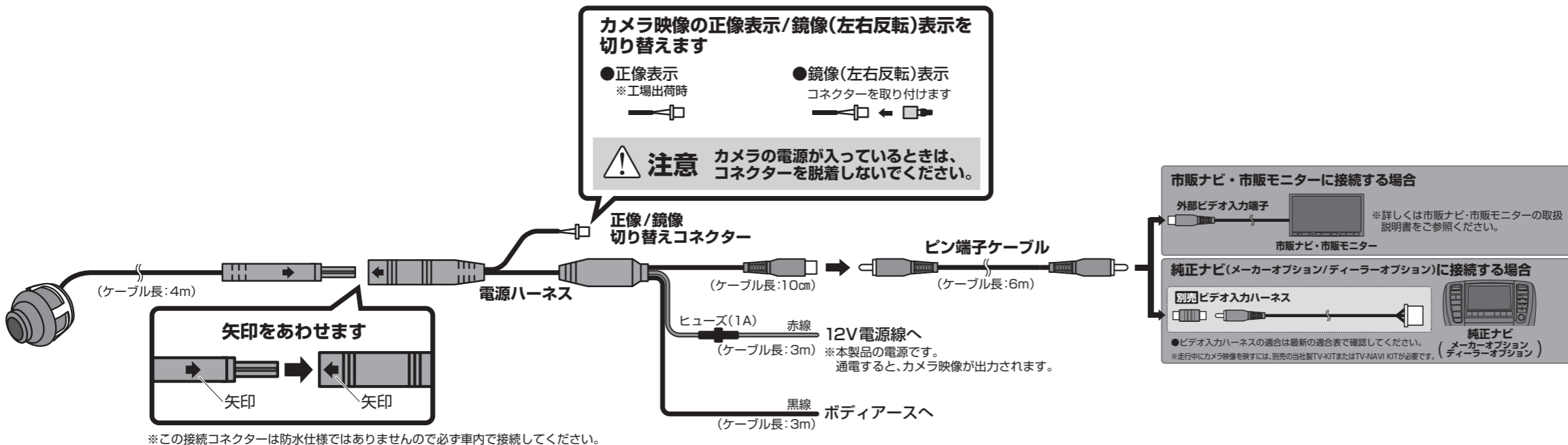
5-1 バッテリーのマイナス端子を取り外す

5-2 ウォッシャータンク奥にあるグロメットの先をカッターなどで切り取り、グロメットから車内にサイドカメラのケーブルを通す

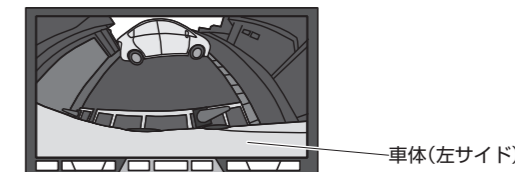
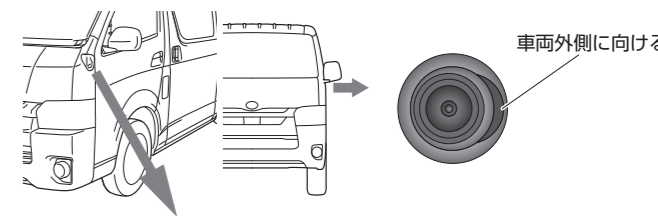


重要
●ケーブルを通したあと、グロメット先端をビニールテープで防水処理をしてください。

5-3 電源ハーネス、ピン端子ケーブルを車両側に接続する接続後、モニターにカメラ映像が映ることを確認する



6. カメラ本体の溝を車体左方向(外側)に向け、カメラカバーにカメラ本体を半分ほど差し込むモニターが図のように表示されるまでカメラの向きを調整する



7. カメラ本体をカメラカバーに差し込むカメラの向きを微調整する

8. 車両を復元し、作業完了

重要
●必ずフロントカメラも装着し、モニターで直前直左の視界を確認できるようにしてください。
詳しくは「本製品を装着する際の重要事項」をご参照ください。